

## 予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

1. 日 時 平成28年6月22日（水曜日）  
午前9時30分～午前10時42分
2. 場 所 本会議場（委員会室）
3. 出席委員 猶 野 智 和 委 員 長 末 永 義 美 副 委 員 長  
竹 岡 昌 治 委 員 徳 並 伍 朗 委 員  
秋 山 哲 朗 委 員 安 富 法 明 委 員  
下 井 克 己 委 員 岩 本 明 央 委 員  
山 中 佳 子 委 員 三 好 睦 子 委 員  
高 木 法 生 委 員 岡 山 隆 委 員  
秋 枝 秀 稔 委 員 戎 屋 昭 彦 委 員  
杉 山 武 志 委 員 荒 山 光 広 議 長
4. 欠席委員 な し
5. 出席した事務局職員  
石 田 淳 司 議 会 事 務 局 長 野 尻 登 志 枝 議 会 事 務 局 係 長  
大 塚 享 議 会 事 務 局 係 長
6. 説明のため出席した者の職氏名  
篠 田 洋 司 副 市 長 田 辺 剛 総 務 部 長  
大 野 義 昭 総 務 部 次 長 三 浦 洋 介 市 民 福 祉 部 長  
西 田 良 平 建 設 経 済 部 長 白 井 栄 次 建 設 経 済 部 次 長  
金 子 彰 教 育 委 員 会 事 務 局 長 末 岡 竜 夫 教 育 委 員 会 事 務 局 次 長  
竹 内 正 夫 財 政 課 長 鮎 川 弘 子 市 民 課 長  
中 村 壽 志 建 設 課 長 千 々 松 雅 幸 教 育 総 務 課 長
7. 会議の次第は次のとおりである。

午前9時30分開会

○委員長（猶野智和君） ただいまより、予算決算委員会を開会いたします。

さきの本会議におきまして、本委員会に付託されました、市長提出議案1件につきまして、審査いたしたいと思っておりますので御協力をよろしくお願いいたします。

議案第54号平成28年度美祢市一般会計補正予算（第2号）を議題といたします。執行部より説明を求めます。鮎川市民課長。

○市民課長（鮎川弘子君） それでは、平成28年度美祢市一般会計補正予算（第2号）について歳出から説明をいたします。

まず、補正予算書の54-12、13ページをお開きください。

歳出について、3款民生費・1項社会福祉費・9目国民健康保険費・28節繰出金、説明欄の001国民健康保険事業国民健康保険事業特別会計繰出金でございます。

これは、国民健康保険特別会計において国民健康保険事業の電算システム改修が必要となったことから、それに伴う事務費繰出金として一般会計から国民健康保険事業特別会計に82万4,000円を繰り出すものでございます。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 白井建設経済部次長。

○建設経済部次長（白井栄次君） 続きまして、その下でございますけれども、第7款・第1項商工費・第2目商工振興費の負担金補助及び交付金におきまして、272万3,000円を増額補正をいたしてございます。説明欄に記載がございまして、006交流人口拡大事業における交流人口拡大イベント開催事業補助金として、美祢ランタンナイトフェスティバル開催事業に対する増額分を計上いたしてございます。

御承知のとおり、美祢ランタンナイトフェスティバルは平成26年度から始まりました新しいイベントでございまして、美祢市の観光資源の一つとして市内外から観光客等呼び込むことができ、また日本と台湾の友好交流の証ともいえる今後の進展が望まれるイベントであるというふうに認識をいたしておるところでございます。

昨年末、台湾南投県より今年2月に開催をされます台湾ランタンフェスティバルで使用するランタン、これは高さが14メートル、幅が8メートル、奥行きが6メ

ートルと非常に巨大なものでございますけれども、これを美祢市に無償で提供したいと申し出がなされましてこれにつきまして各関係機関と協議を行った結果、美祢ランタンナイトフェスティバル並びに国際交流の継続性の観点からこのランタンを受け取ることにしたところでございますけれども、このランタンを台湾から日本に運搬するための経費が当初の見込み額よりも超過すること、またこのランタンを設置並びに撤去に要する費用が別途必要と見込まれること。さらに、その美祢ランタンナイトフェスティバルに、より多くの方々の御来場がいただけるよう、平成28年度には2日間の開催とすることが、さきの実行委員会において決定をされ、このことに伴います経費の増が発生をいたしますことから、この度実行委員会より補助金増額の申し出がなされ、これに対応するためにこの272万3,000円を今回増額補正いたすものでございます。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 中村建設課長。

○建設課長（中村壽志君） 続きまして、その下でございます。8款土木費・5項住宅費・2目住宅建設費において666万円の増額補正を計上しております。

これは、右のページの説明欄001公営住宅等整備事業の施設整備工事でございます。大嶺町東分地内の池尻台1号団地における屋根断熱防水改修の工事請負費でございます。この度の補正につきましては、県より交付金の追加配分希望の照会がありまして、市営住宅長寿命化計画に沿った事業を要望した結果、社会資本整備総合交付金の配分を受けたことによるものでございます。財源は国の50%の交付金でございます。

なお、歳入といたしまして54-10ページ、11ページをお開きください。上段でございます。14款国庫支出金・2項国庫補助金・4目土木費国庫補助金において333万の増額補正を計上しております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 千々松教育総務課長。

○教育総務課長（千々松雅幸君） 続きまして、資料54-12、13ページにお戻り願います。10款教育費・2項小学校費・2目教育振興費、説明欄002小学校教育振興事業におきまして備品購入費20万円を増額補正するものであります。

これは、元学校長である秋芳町の阿座上正士氏から高齢者授勲を受けられた記念

に美祢市教育振興に役立ててほしいということで20万円の御寄附を受けたもの  
あります。教育振興のためにタブレット端末を購入し、有効に活用させていただき  
たいと考えております。

続きまして、3日学校施設整備費、説明欄006小学校空調設備整備事業におき  
まして、工事請負費8,346万2,000円を増額補正するものであります。

これは、子どもたちが1日の大半を過ごす普通教室を中心に空調設備を整備する  
ものであり、今年度伊佐、大嶺、大田、秋吉小学校の4校を整備するものでありま  
す。総合計画に基づき整備するものであり、平成27年度事業採択に向けて要望を  
行ってきたものでありますが、この度平成28年4月19日付で国の補助事業の内  
定があったものであります。これに伴う国庫補助金を674万8,000円増額補  
正するものであります。

○委員長（猶野智和君） 末岡教育委員会事務局次長。

○教育委員会事務局次長（末岡竜夫君） 続きまして、ページを1枚めくっていただ  
きまして54の14-15ページをごらん頂きたいと思います。同じく教育費です  
が項は5番で社会教育費、目の12番ジオパーク推進事業費、この中の秋吉台ゲー  
トウェイ整備事業におきまして、公有財産購入費を117万円、補償補填及び賠償  
金を343万円それぞれ増額補正するものでございます。

秋吉台ゲートウェイ整備事業につきましては、本年3月の市議会定例会におきま  
して平成28年度予算案の説明の際に、秋吉台地域にジオパークの市民活動の場と  
観光客へのおもてなし機能を併せ持つ施設を整備する事業というふうに説明したと  
ころでございしますが、この事業用地といたしまして当初秋吉台上の土地、それから  
建物、これが秋芳町秋吉字台山1237-862という地番で658.85m<sup>2</sup>あり  
ますが、これのみを対象としておりました。

この度の増額の理由といたしまして、まず第一に当該土地に隣接しております土  
地がございまして、この土地が202m<sup>2</sup>ありますがこの隣接っていうのが駐車場か  
ら展望台への通り道に設置した土地でございまして、つまり、この隣接地は秋吉台に  
来られた観光客が車を駐車場に駐車した後、まず最初に視界に入る場所にございま  
して、これから秋吉台を目にする観光客へ与える秋吉台の印象を大きく左右する土  
地であると考えられます。今後秋吉台ゲートウェイ事業におきまして整備いたしま  
して供用開始する予定の施設にとりまして、この隣接地を一帯的に管理することが

観光客へ好印象を与える重要なファクターであるという思いからこの隣接地を追加買収したいと考えた次第でございます。この事が1つ目の理由です。

2点目の理由といたしまして、当該土地にあります鉄筋コンクリート構造物の建物をリニューアルして活用しようというふうに考えておりますが、この建物は昭和34年の建築物で築57年を経過しております。従いまして、構造物の資産価値は極めて低いと判断しており、現在の固定資産評価額程度と想定しておりましたが、不動産鑑定士が建物を評価いたしました結果、建物内に携帯電話基地局の設備があることがわかりまして、携帯電話会社から建物所有者へ携帯電話基地の施設の賃料が支払われておりまして、この建物を市へ譲渡することになると建物所有者の賃料収入がなくなります。

このため、不動産鑑定士の判断によりましてこの賃料収入をある一定年間分補償料として支払う必要があるのではなかろうかという見解に至った次第でございます。

これらの理由によりまして追加買収する隣接地の用地料として公有財産購入費、また携帯電話基地局の賃料収入に対する補償料といたしまして補償補填及び賠償金を増額補正するものでございます。

歳出については以上です。

○委員長（猶野智和君） 竹内財政課長。

○財政課長（竹内正夫君） 続きまして、歳入について御説明をいたします。54-10ページ、11ページを開き願います。18款繰入金・1項基金繰入金・1目ゆたかなまちづくり基金繰入金につきましては、事業実施にあたり特定財源を伴わない単独事業等に関わる財源として689万1,000円を計上いたしております。

続いて、21款市債につきましては、8目教育債によって小学校に空調機を整備いたします事業に対しまして小学校債7,670万円、秋吉台ゲートウェイ整備事業に対しまして社会教育債460万円をそれぞれ追加いたしております。これはいずれも過疎債でございます。

続きまして、54-4ページをお開き願います。ここでは、地方債の補正をお示しいたしております。限度額の変更を行い、観光施設整備事業債を6,460万円、小学校施設整備事業債を2億800万円にそれぞれ補正をいたしております。

以上で、平成28年度一般会計補正予算（第2号）につきましても説明を終了いたします。

○委員長（猶野智和君） 説明が終わりました。本案に対する質疑はございませんか。  
岡山委員。

○委員（岡山 隆君） それでは、この度の平成28年度美祢市一般会計補正予算における、この中で非常に今回予算措置が大きかった学校施設整備費、この小学校空調設備整備事業ということで、8,346万2,000円、これ、予算付けされております。こういった中で、特に今回は国庫支出金、この674万8,000円がついておりますけれども、これは学校、平成28年度における学校施設の環境改善交付金として、国庫支出金が充てられていると思っております。

そして、過疎債も使われているということ、今説明があったわけでありましてけれども、お尋ねしたいことは、まずですね、この小学校空調設備整備計画というものが、今回は小学校4校の空調、冷暖房の設置でありますけれども、今後の計画、今小学校4校ですけど、あとそれ以外もついてないところたくさんありまして、また今後、中学校についてどうなってるんか、この辺の計画について、説明願いたいと思います。

○委員長（猶野智和君） はい、千々松教育総務課長。

○教育総務課長（千々松雅幸君） 岡山委員の御質問にお答えいたします。今後の空調の設備の整備計画についての御質問だったかというふうに思います。

まず、秋芳北部地域統合小学校、これにつきましては、先般教育委員会会議のほうで、秋芳桂花小学校というふうに、校名決定しておりますけれども、この学校につきましては、校舎建設時において、空調を整備する計画でございます。

また、厚保小学校につきましては、長寿命化改修事業に取り組むことといたしております。この長寿命化改修事業の中で、厚保小学校空調整備を図っていききたいというふうに考えております。

また、その他の学校につきましても、学校間で格差が生じないように整備していかなければならないというふうに考えております。中学校についても、同様でございます。今後も国の補助事業がありますので、この補助制度を活用しながら、限られた予算の中で優先順位をつけながら、年次計画的に整備を図ってまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） ありがとうございます。しっかりと計画にのっとり、この空調機、特に現在は、私らの小中学校の時代と違って、本当に日中の気温が既に5月、6月にあっても、非常に30度を超える日々が、気温がですね、続いておったりしております。そういった面において、40年、50年前と違う環境、気象状況となっておりますので、こういったことをしっかりと推し進めていくことが、私は重要ではないかと思っております。差がないようにということで、空調機をしっかりとつけていくということでありまして、安心しておるんですけども、しっかりと今後とも、学校施設の環境改善交付金というものをしっかりとつくと思います。これは、この交付金措置というものは、空調機のみを対象として、今後何年間ぐらい交付金がついていくのかどうか、これについて説明していただきたいと思っております。

○委員長（猶野智和君） 千々松教育総務課長。

○教育総務課長（千々松雅幸君） 岡山委員の御質問にお答えいたします。環境改善交付金というものは、国の補助金であります。事業採択を受けますと、本来の補助率は3分の1ということで、事業採択がある限りは、その補助金がついてくるということになってまいります。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） それなりに、理解はできるんでありますけれども、3回、質問3回までですので、これで終わりたいと思っておりますけれども、この空調機をつけるにあたって、今、結構、高校においては、こういった空調機は、もうすでに大体今までついておるところが多いと思うんです。それで、電気代はPTAのほうで、電気代は払っていくという、こういった高校では、そのようになっておるわけですね。それで、今後小中学校における、空調機をつけた場合には、この電気代というものは、PTA会費として出してまかなっていくかどうか、この辺について、明確にお答え願いたいと思っておりますので、最後の質問です。よろしく申し上げます。

○委員長（猶野智和君） 千々松教育総務課長。

○教育総務課長（千々松雅幸君） 岡山委員の御質問にお答えいたします。空調設備の整備によります電気代についてでございますけども、これについての保護者負担は求めることとはいたしておりません。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） よろしいですか。ほかにございませんか。はい、岩本委員。

○委員（岩本明央君） 54-14、15をお願いいたします。先般の3月定例会で、河本議員がちょっと懸念を申されました秋吉台ゲートウェイの整備事業について、お尋ねいたします。私もちょっと昔教育委員会におった時に、県の自然保護課のほうへ、台山のことで、例えば、電柱を1本1メートル50センチ隣に移動しても大変厳しい。それから、また、建て物のペンキを大分剥げたから塗り直そうという場合でも、全部届出をしなければならないような経験をしたことがあるんですが、この辺の手配というか、確認はもう十分されておるんでしょうか。お願いいたします。

○委員長（猶野智和君） 末岡教育委員会事務局次長。

○教育委員会事務局次長（末岡竜夫君） 岩本委員の御質問にお答えをいたします。法令を遵守した上で、適切に実行しております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 岩本委員。

○委員（岩本明央君） じゃ、許可を得るとということで、理解してもよろしいですか。

○委員長（猶野智和君） 末岡教育委員会事務局次長。

○教育委員会事務局次長（末岡竜夫君） 今、県の担当部局とその辺りは調整中でございます。許可が得られる見込みでございます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございませんか。三好委員。

○委員（三好睦子君） お尋ねいたします。小さなことですが、別に目くじらたてる必要ありませんけど——つもりではありませんが、先ほど説明の中で、小学校の空調設備整備事業で、説明の中で、普通教室につけられるってありましたが、これは各クラスごとに1年から6年までであると思いますが、各クラスごとに付くのかということと、それから、付く優先順位という説明が、今、ありましたが、優先順位とは、地域別にとということでしょうか。それとも、どういう内容でしょうか。お尋ねいたします。子どもの人数によって違うのか、優先順位の基準をお尋ねいたします。

○委員長（猶野智和君） 千々松教育総務課長。

○教育総務課長（千々松雅幸君） 三好委員の御質問にお答えいたします。普通教室を中心にと、普通教室は各学級単位です。クラスごとに整備する計画であります。

それから、優先順位をつけながらということにつきましては、まず、小学校から整備するのか、中学校から整備するのかというところで、まずは体力的に弱いといえますか、小学校のほうから、順次整備をしていこうと。そして、整備については、地域間のバランスも考えながら、あるいは再編統合の状況等も踏まえながら、整備をしていきたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 三好委員。

○委員（三好睦子君） ありがとうございます。子どもたちも喜ぶと思います。

それから、54-15ですが、秋吉台ゲートウェイについてですが、この中で、先般いただいた中で、工事請負費が3,600万と上がっています。この設備設計の仕様とか、どのような仕様でどのような設計なのか、3,600万といえば、1件家が建つぐらいなんですけど、その設計とか仕様とかどのようなことか、先ほど説明がありませんでしたので、お尋ねいたします。

○委員長（猶野智和君） 末岡教育委員会事務局次長。

○教育委員会事務局次長（末岡竜夫君） 三好委員の御質問にお答えいたします。工事については、このたび補正予算のこの中には出しておりませんが、当初予算で3,600万とございますので、また、淡々と事務処理を進めていきたいと思っております。

立て替えるとかゆうのじゃなしに、一般的にいう改装ですね、というような感じ、内外装の改装というふうに考えていただければと思います。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 三好委員。

○委員（三好睦子君） ありがとうございます。次にですが、建物の件ですが、台上の施設をシルバーの方が、台上やその施設の周り、トイレとかを美化清掃されています。この人たちは、休憩場所が決まっておらずに、お弁当食べる場所がなかったんですね。ある時トイレの前で——ある時はトイレの前で、ある時はトイレの横の陽だまりで、風のこないところ、陽だまりでシートを敷いて寒さをしのいで食事をしておられました。何とか改善できないかと、以前に要望しておりますが、改善されないままではなかろうかと思っております。この施設の一画に横になって、休めるような休憩場所を確保していただきたいのですが、この設計の中には、入れていただけるかどうかをお尋ねいたします。

○委員長（猶野智和君） 末岡教育委員会事務局次長。

○教育委員会事務局次長（末岡竜夫君） 三好委員の御質問にお答えいたします。今構想の段階でそういう目的はございません。しかしながら、今のようないことが現実的にあるようであれば、また、観光部局のほうともしっかりと協議して、そういう場所をどこか確保できるように話し合っていきたいと思っております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 三好委員。

○委員（三好睦子君） それでは、よろしく願いいたします。

○委員長（猶野智和君） 秋枝委員。

○委員（秋枝秀稔君） お尋ねいたします。さきほどから、学校の空調設備につきましてですね、いろいろお尋ねがありました。さきほど言われましたように、どこの学校も暑さは変わらないということで、年次的に整備していくというふうに言われました。これは、来年、再来年ずっと続けていくという、こういう理解でよろしいでしょうか。

○委員長（猶野智和君） 千々松教育総務課長。

○教育総務課長（千々松雅幸君） 秋枝委員の御質問にお答えいたします。そのような方向で進めていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 杉山委員。

○委員（杉山武志君） 秋吉台ゲートウェイ整備事業について、お尋ねいたします。

今回の補正予算ですが、美祢市の観光推進を図る上で、大変非常によい場所で展開されると思っております。今回の補正予算について、補償金等ですね、支出ということで上げられておりますが、従前、自販機等設置した場合に、高額収入が見込まれる大変なよい立地なわけですが、今回これを進めていかれる上でですね、そういったものも設置、また、そういう収入的なものを見込まれているかどうかという辺をちょっとお尋ねしたいなと思っております。よろしく願いいたします。

○委員長（猶野智和君） 末岡教育委員会事務局次長。

○教育委員会事務局次長（末岡竜夫君） 杉山委員の御質問にお答えいたします。まず、第一は、あの場所は、景観を重視したいというのが、一番念頭にございます。その上で、景観を崩さない最低限の自動販売機の設置というかたちで、設置する方

向で考えていきたいというふうに思っております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 杉山委員。

○委員（杉山武志君） 先ほどもお伝えしたところでありますけど、最高によい場所でされるわけですが、今後こういう建物で、有効的な活用をお願いいたしまして、お礼の言葉としたいと思いますが、よろしく申し上げます。

○委員長（猶野智和君） 安富委員。

○委員（安富法明君） 2点ほどお伺いをします。最初に、商工振興費のランタンナイトフェスティバルの件なんですけど、よろしいでしょうか。今回、こういうふうな台湾との交流事業の結果として生まれた市の振興策、観光振興ということ、交流人口をふやしていこうというふうな説明が書いてあるわけですが、市長は先般の所信で、台湾事業についてはですね、身の丈に合ったというふうなことを言っておられますが、あんまり詳しくその辺について触れておられません。で、今回の予算が——今回市長おられませんけど、今までの経緯の中で組まれたのか、あるいは何て言いますが、補正ですから、方法論はいろいろ、取り組み方いろいろあったと思うんですけど、その辺の過程について、お聞きをしたい。よろしく申し上げます。

○委員長（猶野智和君） 白井建設経済部次長。

○建設経済部次長（白井栄次君） ただいまの、安富委員の御質問に対してお答えしたいと思います。時系列で申しますと、まず、昨年末とさきほど申しましたけれども、平成27年の12月、年末に台湾のほうから申し入れがございまして、年が明けまして1月8日には、もう、答えを出さなくてはいけないという状況にございました。

で、1月の8日に答えを出すまでに、2回ほど関係部局で協議を行いました結果、先ほど申したとおり、ここのイベント、あるいは国際交流の継続性というところを踏まえまして、引き受けるというかたちとしたわけでございます。

また、結果的に運搬費につきましても、当初はコンテナ1台分予定いたしてございまして、当初予算に盛り込んでおったわけですがけれども、最終的にはこれ、3台のコンテナの運搬となりました。そういったこともありまして、運搬経費がまず、ふえましたこと、これは、3月の時点で明確になったところとございまして、先ほど申しましたように、1月にお受けをいたして、その具体的なかたちになったのが

3月ということで、非常に新年度予算には到底、間に合うような内容でもございませんでしたし、また、実行委員会、青年会議所の方が中心となって、こういった事務局を務めていただいておりますけれども、現地に行って現物を見て、帰っていただいたりですとか、そういった中で、非常に巨大なものを実感されまして、設置費用、撤去費用につきましても、新たに別途必要だろうという見込みを立てられた。そういった1月、2月、3月、4月と、ずっとこう継続していく中で、そういった必要な経費というものが、徐々に定まってまいりました。

また、年が明けまして、年度が明けまして、5月には実行委員会が行われたわけでございますけれども、その時事務局から初めて、今年は2日間の開催をするということも分かりましたことから、この6月での補正となったわけですが、そういった経緯を踏まえて、今回の補正ということになったわけです。その都度その都度で、上司等にも報告をし、理解をいただいた上で十分進めておったという状況でございます。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 安富委員。

○委員（安富法明君） 庁内において、その都度上司との協議を、庁内協議をされたということですね、今。で、私はこの事業は、台湾交流事業はひとつの今までの経緯の中で大きな成果で、振興策としては、大変多くの方が、私も一度去年だったかな、行きました。賑わってすばらしいなというふうに思ってるんです。内容がいいとか悪いとかってということじゃない。

で、ここで意地の悪いような質問になってしまったのかもしれませんが、十分な協議をされて、こういうふうな事業がですね、継続をされていくということが、庁内でね、ちゃんと協議をされた上で、基本的に今、断れんからとりあえずやろうというのか、いや、これからもこういうふうな事業ですね、観光振興の一環として、進めていくよっていうふうな協議をされたのかっていうへんが気になりました。そういうことで、お聞きをしました。ですから、今の答弁といたしますか、回答ですと、十分その辺の協議がされた上で、今後も続けていくよと、盛り上げていくよということでもいいんですか。もう一度。

○委員長（猶野智和君） 白井建設経済部次長。

○建設経済部次長（白井栄次君） ただいまの、安富委員の御質問にお答えしたいと

思います。先ほども申しましたとおり、国際交流とこのイベントの継続性ということをごまえての引き受けということでございますので、将来的な、そういった継続ということをごまえて、重点にごまえた上での協議ということもございます。

また、先ほどちょっと言葉で申しましたけれど、日本と台湾の友好交流のあかしというふうな位置づけも言えるかと思っておりますので、そういった意味からも、この台湾からのランタンの引き受けにつきましては、引き受けることになったと。

また、日本全国各地で、そういったランタンナイトが、ランタンフェスティバルがございますけれども、美祢市のように台湾からのランタンを引き受けての開催ということは、なかなか耳にすることはございません。非常にインパクトの強いイベントだというふうに思います。

また、青年会議所の若い皆さんが頑張っておられる、この取り組みですので、ぜひ、市としても引き続いて応援をしていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 安富委員。

○委員（安富法明君） 市長に成り代わっての力強い回答だというふうに、今、聞いておきます。

次に、ゲートウェイの件なんですけど、これ私も御案内のように、出てきたばかりでありますのでお聞きをするわけですが、この社会教育費で当初から予算をお組みになってるというふうに思うんですけど、事業としては、商工費の中に観光振興費いっぱい出てまいります。で、その辺の位置づけについて、ちょっとお聞きをしたいと思っております。

○委員長（猶野智和君） 末岡教育委員会事務局次長。

○教育委員会事務局次長（末岡竜夫君） 安富委員の御質問にお答えいたします。かなり遡ってちょっと話が長くなるようですが、いいですか。教育委員会に、今、ジオパーク推進課というのがございます。平成25年に、第1回目の日本ジオパークの申請をした際には、総合政策部にございました。で、25年は御存じのように、見送りという結果を受けまして、その時の審査の結果の中に、学術連携が非常に不足しているというふうな、御指摘を受けた経緯もありまして、これは、大学、高等教育機関、それから、小中学校、高校とも、しっかりと教育に根差したジオパーク活動を行うべきであろうという意味から、平成25年の12月から教育委員会のほ

うに、ジオパーク推進課のほうを、移した経緯があります。

で、今も現在、教育委員会にジオパークの推進課がございますが、委員のおっしゃるとおり、確かに観光、ジオツーリズムという言葉も非常に、今、教育と同等に重要というふうに考えております。

という経緯がございまして、今はジオパークの所管の部署は、教育委員会だということで、今のこの社会教育費の中にあるということでございます。ですから、その枠の中で、全てするという意味は、私どもは担当者の事務方としては、思っておりません。ですから、観光ともしっかりと連携して、観光振興に結びつくように、取り組みたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 安富委員。

○委員（安富法明君） それじゃですね、今後の取り組みですね、いろいろなものが出てくるだろうというふうに思いますが、今、社会教育費の中で全て、対応するよということでは必ずしもない。財源求めながら、いろんなかたちがあるよというふうに捉えていいんですね。

○委員長（猶野智和君） 篠田副市長。

○副市長（篠田洋司君） 安富委員の御質問にお答えしたいと思います。委員の言われるように、立ち位置をどこにもっていくかによって、いわゆる担当部署をどこにもっていくかというのは、今後も大きな課題になるかと思います。いわゆるジオパークは、保全と教育と地域振興でございます。ですから、どの部署にもっていけば、一番効果的に事業が進行できるのかという観点と、あとは全庁的に取り組む必要は確実にありますので、どの部署におけば、全庁的に、より効果的に取り組めるのかという観点から、また、今後も絶えず検証しながら、担当部署を決めていき、また、地域振興につなげていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 安富委員。

○委員（安富法明君） 分かりました。私ですね、やはりジオパーク構想は、山口県を代表する観光地である秋吉台、秋芳洞、これを中心とした地域振興にとってですね、欠かせないものだと思うし、やっぱりその一番力をいれてやらなきゃいけない部分だというふうに思います。市長さんも替わられて、私どもとすれば、まだ、分

かりにくいところがありますので、部内といいますか、庁内協議を一生懸命重ねていただいてですね、全市あげて従来よりの取り組みの指針どおりですね、全市で取り組むというふうな強い方針でですね、ぜひ推進していきたいと、いかれたいというふうに願っております。よろしく申し上げます。終わります。

○委員長（猶野智和君） 篠田副市長。

○副市長（篠田洋司君） 市長就任以来、市長のほうから、このジオパークの推進については、市長の指示によって、協議を重ねております。市長のほうから、どの部署におけば一番効果的、効率的に事業振興、地域振興が図られるのかという指示もいただいておりますので、今後ともそれについては、積極的にジオパーク活動進めてまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 竹岡委員。

○委員（竹岡昌治君） せっかくなしという声があったんですが、私は今、安富委員の質問と執行部の答弁をお聞きして、どうしても違和感あるんですね。先日の所信表明聞かせていただきました。ようやく美祢の市民の皆さんも、選挙モードから、平常に戻られたと思うんです。しかしながら、私たちの耳には、まだ、チェンジ、チェンジという言葉が残ってますね。

で、所信表明をお聞きした段階では、チェンジじゃなくて継続なんですね。ですから今、市長がおられないんで詳しいこと聞かれませんが、選挙民を騙したのか、あるいは何か大きな問題があって、変更されたのか。先日も福岡へ行かれましたですよ。台北の、日本でいう大使みたいな方でしょうが、その方ともお会いしたんで。私は一般質問で、通告しておりますので、お聞きしようと思っております。詳しいことは。しかしながら、全ての事業が、全てとは言いません。市民室が何かちっちゃい、何か時間的に時々出られるというような移動市長室というんですか。何か、それほどは変わりました。

それ以外はですね、私たちもほかの協議でいろいろやっています。例えば、福祉の活動計画つくるにしても、市長の演説ではCCRCは反対だと。ま九州で失敗した例を挙げられて、そういう意見もありました。しかしながら、現実には動いているわけですね。三浦部長、お聞きになったと思います。私が申し上げました。市長の考え方、まず、はっきりしてくださいと。でなければ、我々はこれ以上進められな

い。いろんな会議の中で、そういうことを申し上げてきてるわけですね。ですが、今、お聞きしたら、今、お聞きしただけじゃなくて、所信表明もお聞きしたら、全部継続。いいんですよ、いけないと言ってるわけじゃないんです。ですが、その中身については、また、27日詳しく申し上げますが、まず、この台北との付き合い方、先ほどの答弁では国際交流を、もっともっと拡大していきたいというふうな意気込みが聞こえたんですね。で、安富委員からは、身の丈に合ったと、これは、市長の言葉ですよ。身の丈に合ったものをやろうとするならば、向上はないんですよ。私なんか、ちんちくりんの小さい背じゃから、これに合うたように物事をやろうとすれば、何にもおきてこない。美祢市も一緒ですよ。二万六千しかないから、じゃ、それぐらいのことにしちよきましょうと言え、台北なんかもある意味では、大きな国際交流ですから、一步間違えれば、どういうことが起きるか分からないというんですから、慎重にですね、しかも、ころころころころ方針を変えていただくと、私たちはやはり、常日頃それを基に議論してるわけですよ。いろんな事業に対して。ですから、トップがあれば、ころころころころ方針を変えてもらったら困るんですよ。戸惑うんですよ、市民は。

市長が今おられないんで、市長に聞くことはできません。再度お聞きしたいんです。台北とのお付き合い、それから、今申されたランタン祭、今後私は拡大していくべきだということで、それをベースでお聞きしてるわけですが、本当に、どのようにしようとしてされているのか見えないんです。言葉でいろいろ言われても信じられないんです。何かあったら、きのう言われたことと、あした言われることが違うんです。もう一度きっちり執行部のほうから、お答え願いたいと思います。

○委員長（猶野智和君） 篠田副市長。

○副市長（篠田洋司君） 竹岡委員の御質問にお答えしたいと思います。一番いいのは、市長の口からが一番望まれることだと思いますが。行政もいわゆる継続性も求められているわけでございます。ですから、今年度は、予算については承認されていますので、その予算に基づき、粛々と進行するわけでございます。

竹岡委員の御質問の本質というか、本音は台北事務所をどうするんだということ、台湾との交流をどうするんだということだと思いますけど、これについては、先だって言われましたように、福岡の総領事とも面会をされております。その中では、台湾との交流は今後も進めていくというふうに、市長も回答されております。

ですから、ランタンナイトフェスティバルについても今年度はそのまま継続させていただき、行政の継続性とか台湾との関係から言いますと、これは継続していくという方向で行政サイドは動いております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 竹岡委員。

○委員（竹岡昌治君） 執行部はそこまでですから。27日、所信表明を受けての一般質問をやるようになっておりますので、その時に、市長と十分議論を交わしたいと思います。

以上で終わります。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 今回、今お話しがあった交流人口拡大事業ということで、こちらさっき言おうとしたんですけど、さきに質問があったわけですが、今回交流人口拡大イベント開催事業補助金ちゅうことで272万3,000円、この予算付けがされております。

そういった中でさっき執行部から説明がありましたけれども、今回台湾で使われた、このランタンを無償提供する、この美祢市にですね。日本で本当に小さいこの美祢市の自治体に、台湾、本当に台湾との交流があつて、そして台北にもう事務所もあるわけですね。そういった、私は小さな積み重ね、実績等があつて初めて、この台湾からランタンを無償で提供してくれる。これはですね、なかなか、台湾がこの美祢市にここまで配慮してくれるちゅうのは、今までの深い付き合い、交流、人的交流、これを美祢市を信頼しているからこそ、こういったランタンを、私は無償提供でいただける。本当に私はありがたいし、そして交流が本当に今まで進んできている。まあそれも台北に事務所があつて、そこで市の職員が、この台北またさまざまな交流があるところに出向いてですね、その働きかけをしたその成果として、こういう形になっておると思います。本当に最初に井戸を掘った人を本当に大事にする。これを、恩を忘れないというのがこの台湾であります。そういったところを今後、私は県も台湾と宇部市、このチャーター便を今後入れていく予定もある、こういったお話しも聞いているわけです。こういった中でどんだんどんだんこういった人的交流を進めていくことが非常に私は重要でもあるし、向こうにある台湾事務所というのをさらに、私は無駄削減をしながら、しっかりと充実していくことも大

事であると思っております。

それで、お尋ねしたいことは、今回の無償提供をされてランタンナイトフェスティバル、私は今まで、このフェスティバルを1日じゃなくて3日間ぐらい続けてやっていったほうがいい、このように今まで本会議で質問をしたわけでございます。今回この予定としては2日間にわたって行うということを言われて、まあ一歩前進かな、このように思っております。それです、今こういった中でランタンナイトフェスティバルを行うにあたってその経済効果、今まで1日2万人来たと言われております。1人が1,000円使っても2,000万円、こういった経済効果もありますけど、今後この交流人口拡大事業を行うことによってこの経済効果というのを、より私は市民の皆さんにランタンナイトフェスティバルで経済効果が具体的にこうありますよということを知らせる必要があると思っております。今までそれは中途半端でなかったわけでありますから、今後この交流によって観光地の動向、そしてランタンナイトフェスティバルのこの経済効果というのをより私は市民の皆さんに明確に説明する必要があると思っておりますので、この点についていかがでしょうか、お尋ねいたします。

○委員長（猶野智和君） 西田建設経済部長。

○建設経済部長（西田良平君） ただいまの岡山委員の御質問にお答えいたします。

ランタンナイトフェスティバルにつきましては、開始以来非常に好評を得ているということにつきましては、市民の皆様も既に周知されているというふうに、我々事務局の方も認識をしており、そしてそれを行っていらっしゃる若い力、青年会議所の皆様、さらに前進していこうというふうな考え方を今されていることによりまして2日間という、大きく拡大方向に至ったわけでございます。

これを我々としてみれば、補助金というかたちでバックアップをするわけでございますが、市民の税金を使う以上はやはりこれはどういうふうな市にとっての効果をもたらしていくのか、それにつきましては、一つは経済効果という捉え方もあろうかと思えますし、これを基に美祢市というところでこういうイベントが行われるというPRの一部にもなるかと思えます。こういった観点から今後その辺に關しての経済効果っていうことも明確な数字っていうことがなかなか難しいところもあるかと思えますが、基本的にはそういう捉え方も今後はしていきたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 少し説明が、私も納得してないところもあるんですけども、試算のあり方というのがいろいろあると思いますけれど、他市でいろいろ試算のやり方ちゅうのが、計算方法がありますのでそういったところの参考にしながら、この経済効果というのを私は示していただきたい、このように思っております。

そして、ランタンナイトフェスティバル、今回2日間やって、行って、補助金も今まで以上に付けていること、これは非常に重要なことと思っております。それでやっぱり青年会議所を中心にやっております非常に、私見ておって大変な中やっているなあと思っております。そういった面で我々議員も、そういったところに強制じゃないですけども議員の方にもしっかりと、この手伝いができる方はしっかりと参加して力を入れていただきたい。応援していただきたい、こういったことがあれば私らも喜んでやりますので、まあそういったところもしっかりと今後考えながら行政と議会一体となって、このランタンナイトフェスティバルを応援してまいりたいと思っておりますので、こういったところも今後どうか議会側への働きかけをしていただきたいと思っております。

以上であります。

○委員長（猶野智和君） 杉山委員。

○委員（杉山武志君） 今回のイベントの補助金について私からもお尋ねいたします。最初説明があった際に、無償で頂かれることになったということでお話しがありました。その後に輸送、移動、設置等の経費が必要になってきたということで、都度御協議をされたというふうにお話しを先程来うかがっております。コンテナ1台分が3台分になったとかですね、いうふうなお話しがあったんですが、この複数名の方が何度か確認に行かれて、都度協議をされてっていうのは、ちょっと安易ではないかと。もっと熟慮して算出等するべきではなかったのではないかという気持ちを抱きましたので、その辺いかがお考えかをお尋ねしたいと思います。

○委員長（猶野智和君） 西田建設経済部長。

○建設経済部長（西田良平君） ただいまの杉山委員の御質問にお答えいたします。

当初、平成28年度予算を組む段階、12月から1月ぐらいになろうかと思いますが、その段階で無償提供をされるということでおったわけでございます。その時

に、これだけの、高さが14メートル近くあるわけですけど、これについて分解の度合いがどの程度であるか、そういったようなところが実は明確には分かっていたという、予算編成時の段階で分かっておりました。写真の提供等はあったわけですが、運搬については約コンテナ1台分ぐらいであろうというぐらいの、正直いいますと不明瞭な部分を残したままの予算編成ということになりました。それから、それを詳細にお聞きしたところ、分解方法とかそういうところも具体的に提示をされました。その結果として運搬にはどうしてもコンテナ約3個分と言いますか、それだけは必要になったということの経緯がございます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 杉山委員。

○委員（杉山武志君） 今の御回答ですが、28年度の予算編成の際にそこまでは分からなかったといった御回答だったと思うんですが、予算編成につきましては、どの部署も真摯に熟慮されてやっておろうと思われま。もっともどれぐらい確実にいるんだという辺を煮詰めていただいて予算編成をしていただきたいと。

また、ここに増額される金額につきましては先程来話しがありますが、国際交流、台湾と美祢市との交流のあかしでもありますし、無償でいただいたという、それも大切な言葉でありますので、友好関係を表すものだと思いますので、この金額が安かったんじゃないかと思えるような活用をしていただきたいと思います。

ありがとうございました。

○委員長（猶野智和君） 秋山委員。

○委員（秋山哲朗君） 今の台湾からのランタンの話、非常にわかりにくい話があった。というのは、当初——今回、平成28年度が3回目ということでもありますけれども、今までこの第1回、2回、3回とですね、どのくらいのランタンが来ておるかということですね、やっぱりこのくらいのランタンでコンテナ1台で済むよということの数字の出し方も必要でないかと思えます。

恐らく、14メートルのランタンが1体来るといっても、それ以上にまたランタンが——そのほかのランタンもあると思うんですね。それも含めて3つのコンテナにどのくらいのランタンが入ってくるのかということと、もう一つ大きな意義は、やはりこの美祢市が台北に事務所を出したから、このランタンが来るのではないかというふうに思っております。

これ、第1回目を——ランタンナイトフェスティバルやった時に、確か長崎のほうからクレームが付いたという話も聞いております。なぜ、美祢市がランタンなんかという話も聞いておりました。

それはですね、長崎のランタンっていうのは大きな提灯なんですよね、全部。このような、いろんな姿をしたランタンってのは無いわけですね。恐らくそのやっかみであろうかと思っておりますのでですね、本当に日本全国から——全国探してもですね、台湾の本物のランタンが来るということは、まず美祢市だけであろうと思っております。

それは、1つは台北に事務所を出したからというふうに私は自負をしておりますし、以前、私と徳並議員、そして今市長であります西岡市長もですね、このランタン祭りには行っておられるんですよ。台湾に行っておられます。そして、絶大なる歓迎も受けておられます。そして、すばらしいランタン祭りを見てまいりました。「ああ、すばらしいねこのランタン。美祢市も出したらいいね」という話もしておりました。その当時。

予算的には、国家予算ですから、9億という予算かかっております。その中の飾った一部が美祢市に来るとい、これ美祢市の誇りですよ。美祢市が台北に事務所を出した誇りです。それほど、井戸を掘った人間を大事にするよというひとつのあかしなんですよね。

だから、今、杉山委員が言われた——確かにこういう予算組むのはどうかなというようにもありますけれども、ほんとに一所懸命、青年会議所のメンバー、まあ執行部の方も行かれたと思いますけれども——が交渉なされた結果がこうであろうと。なかなかその時に、この予算が——どれだけの予算がいるとかわからないと思います。

恐らく、向こうの思いやりで14メートルのランタンが来ると、このように聞いておりますので、恐らくその辺の追加予算がいるんじゃないかと思いました。ぜひ、コンテナ、今まで1台であったのが、なぜ3台になったのか、というのは明確に市民の前で説明する責任が執行部にあると思いますので、よろしくお願い申し上げます。

○委員長（猶野智和君） ほかによろしいでしょうか。では、質疑なしと認め……（「ちょっと待って、いま言ったことに対して答えて」と呼ぶ者あり）篠田副市長。

○副市長（篠田洋司君） 秋山委員の御質問にお答えしたいと思います。先ほど杉山委員からも御質問がございました。予算というのは、自治体最大の意思決定でございますので、予算編成にあたっては、慎重を期すべきだという御指摘はごもったもの——とおりでございます。

で、予算編成にあたっては、難しくしてるのが、1つは台湾との話ということと、青年会議所というワンクッションを置いてるということで、予算編成を難しくしたという結果がございます。

当初、私どもはあくまでもコンテナ1台分ということで認識しておりましたので、その1台分のみを計上したということでございます。で、詳しく台湾当局と直接お話しをさしていただいたり、その中で実は14メートル、コンテナ1台には入らない、3台分必要なんだということが明確になったために、このたびその部分を予算で追加計上している次第でございます。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 秋山委員。

○委員（秋山哲朗君） ということは、龍の14メートルのランタン1体分で3台のコンテナがいるということの理解でよろしいですか。いままで、恐らく小さなランタンが何体も入って1台分って来たように思っておりますけれども、どういう理解でいいんですかね。

○委員長（猶野智和君） 西田建設経済部長。

○建設経済部長（西田良平君） ただいまの秋山委員の御質問にお答えいたします。

高さが14メートル、幅が8メートル、奥行き6メートルということで、1体についてコンテナ3台ということになります。

先ほど言いましたように、分解の仕方ということまでの詳細が予算編成時には、ちょっと分かり得なかった部分もございまして、このような補正という形に至ったわけでございます。その辺は十分反省いたすところでございますが、基本的に1体の分解をした、それを収納するのにコンテナ3台必要だったということでございます。

○委員長（猶野智和君） 秋山委員。

○委員（秋山哲朗君） はい、1体でコンテナ3台。ぜひですね、こういったことを市内外にPRしていただいてですね、より多くの——まあ2日間開催されるという

ことでありますので、より多くの方にPRしていただいで、来ていただくということも必要ではないかと思っておりますし、やはり、これは台湾の台北事務所がここにあるから、こういった大きな物が頂けるということなんじゃないですかね。その辺はどうなんですか。

○委員長（猶野智和君） 篠田副市長。

○副市長（篠田洋司君） やはり、台北事務所を設置したということは、大きな要因であろうというふうに考えております。

○委員長（猶野智和君） 徳並委員。

○委員（徳並伍朗君） 老婆心ながらちょっとお聞きするわけでありますが、この前の山口新聞に美祢市の中学生を2名カナダに語学留学といいますか、送るといううなのがありました。

美祢市も今まで台湾との中学生の交流というので去年は美祢市から行きましたし、一昨年は於福の中学校へ来られた。20人前後ですね、来られたわけでありましてけれど、非常に交流も深まって、私も行ったんですけど、本当にいいなという、まあ思っておったんですが。まあ市長さんの言うことは、いろいろこころ、さっきの竹岡委員の言葉じゃないですが、言動が一致しませんので、もう9月の補正でもいいですけど、今年度台湾の中学生をお招きをする気があるのか、ないのか。まずそれを聞きたいと思います。

○委員長（猶野智和君） 篠田副市長。

○副市長（篠田洋司君） 水里郷との交流事業のことだと思いますけど、今年度は予算計上もしておりますし、その事業は計画通り進めることとしております。

○委員長（猶野智和君） 徳並委員。

○委員（徳並伍朗君） 国内から来る子供たちじゃありません。外国から来るということでもありますから、非常にこう、その辺の安全・安心、それから心遣い、日本のおもてなしというか、山口県のおもてなし、美祢市のおもてなし、これをよく美祢市で考えていただいで、やはり良かったな、ずっと続けたいなという子供たちになってもらいたい。

そしてまた、私たちも台湾に行ったときに、その中学校の子が美祢市に来た台湾の学生さんにお会いしたんですよ。非常に大きくなっておられたしだいぶん顔も変わったという感じがしたんですけど、向こうも覚えていてくれて非常になつかしい

思いがしたわけですが、そういう思いを学生同士がしていただくと。同時に、地域の人たちも、それはもう学生同士だけじゃあなく地域の人たちも、ぜひともあげて応援をするような、応援といいますか、お迎えをするような交流をお願いをしたいと思っております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 下井委員。

○委員（下井克己君） すみません。先ほどからコンテナ3台ということで、私ちょっと気になったんですけど、それだけの大きなランタンをどこに保管するんですか。どのような状態で保管されるのか、もし分かっておれば、ちょっと予算と関係ないかもしれませんが教えていただければと思います。

○委員長（猶野智和君） 白井建設経済部次長。

○建設経済部次長（白井栄次君） ただいまの下井委員の御質問にお答えいたします。もう既に3月末に現物が届いておりまして、既に保管がしておる状態なんですけれども、ちょっと場所がどこっていうふうに申しませんが市に関連施設の一角に保管をさせていただいております。物によってもともと外に保管しておるものがございますけれども、一部倉庫に入れて、そうでないところは一部野ざらしになってるところもありますけれども安全な場所に……雨対策をする時期ですけど雨対策をしっかりと配慮しながら保管しておるという状況でございます。

説明は以上でございます。

○委員長（猶野智和君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。それでは、本案に対する御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 御意見なしと認めます。それでは、これより、議案第54号を採決いたします。本案について、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 全員異議なしと認めます。よって、議案第54号は原案のとおり可決されました。

以上をもちまして、本会議で本委員会に付託されました議案1件につきましての審査を終了いたしました。

その他、何かございましたら御発言をお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君）　ないようでしたら、これをもって本委員会を閉会いたします。御審査、御協力、誠にありがとうございました。お疲れ様でございました。

午前10時42分閉会

---

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成28年6月22日

予算決算委員長

猶野 智和